



板橋キャンパス

教育理念「自分流」のもと、医療の未来を切り拓き、患者さん一人ひとりに寄り添う次代の高度医療人を育成

SUMMARY

人生100年時代を迎え、健康寿命の延伸や高度医療の発展、AI・デジタル技術の進展など、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした時代に求められるのは、高度な専門知識や技術に加え、多職種と連携しながら患者さん一人ひとりに寄り添うことのできる医療人です。

帝京大学では「実学」「国際性」「開放性」の教育指針のもと、医学部、薬学部、医療技術学部、福岡医療技術学部がそれぞれの専門性を生かしながら連携し、実践力と豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成。充実した附属病院や最新設備を活用した実践教育、学部横断型の学びなどを通じ、医療の未来を切り拓き、地域社会や世界に貢献できる医療人の育成に取り組んでいます。

おきながよしひと
沖永佳史理事長・学長

慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。2002年、学校法人帝京大学理事長・学長。2009年、帝京大学短期大学学長を兼任、現在に至る。

01 高度化する時代に貢献できる医療人材を育成

教

教育理念として「自分流」を掲げ、自ら考え、主体的に行動し、その結果に責任を持ちながら社会に貢献できる人材の育成を目指す帝京大学。その実現に向け、「実学」「国際性」「開放性」の3つを教育指針に据え、主体的な学びと多角的な視点を養う教育を展開しています。

「本学は10学部31学科を擁する総合大学としての強みを生かし、学問分野を超えた連携や文理融合を積極的に推進しています。2021年には先端総合研究機構を設立し、Aやヒューマニティーズを軸とした先進的な研究に取り組む一方、インキュベーション施設やインターンシップなどを通して、研究成果の社会実装と実践的な学びの機会を提供しています。AIが劇的に進化を遂げた時代だからこそ、知識を習得するだけでなく、それを活用する力や、実体験対話、挑戦と失敗を重ねながら学び続ける力を育むことが重要なんです」と沖永佳史理事長・学長は説明します。

こうした中、特に注目を集めているのが帝京大学の医療系学部です。超高齢社会の進展に伴い、平均寿命の延伸だけでなく、健康上の制約なく生活できる健康寿命の延伸が重要な社会課題となっているのです。

医療・介護需要の増大や医療技術の高度化、多職種連携の必要性が高まる中、高度な専門知識と実践力、さらには高い倫理観を備えた医療人材の育成は、持続可能な医療体制を支える上で不可欠です。こうした社会的要請を背景に、医学部、薬学部、医療技術学部、福岡医療技術学部の医療系学部を擁する帝京大学の教育・研究に注目が集まっています。

02 実践力と人間性を備えた「よき医師」を育てる医学部

医

学部が教育理念に掲げているのは、最新の医学知識・技量を身につけたよき医師の育成です。医師に求められる医学知識や診療技術はもちろん、患者さんの立場に立つて考える豊かな人間性など、人に向き合う力を重視した教育を展開していることが大きな特徴です。

教育では、基礎医学と臨床医学を有機的に結び付けたカリキュラムを採用。短期間に少数の科目を集中して学び、積み上げ方式により、知識を段階的に積み重ねながら理解を深めるとともに、異なる視点から繰り返し学ぶことで、確実な知識の定着を図ります。また、少人数でのグループディスカッション、プレゼンテーションを数多く取り入れ、自ら課題を発見し、考え、解決する力を養成。国家試験合格に必要な知識・技量の修得に加え、生涯にわたって学び続ける医師としての基礎を築いています。

学びの舞台となる板橋キャンパスは、帝京大学医学部附属病院を中心に、医学部、薬学部、医療技術学部が集結する医療系教育の拠点です。特定機能病院である附属病院では、高度急性期医療から救急医療まで幅広い症例に触れることができ、早い段階から実践的な臨床教育を受けられます。また、医師だけでなく薬剤師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師などを指導する学生と共に学ぶ機会も豊富で、現代医療に欠かせない「チーム医療」を学生時代から体験できる環境が整っています。

さらに、医学部ではコミュニケーション教育にも力を入れています。板橋キャンパスにあるコミュニケーション研究センターには、高機能シミュレーターや各種医療機器を備え、心肺蘇野で活躍できる人材を育成。医療現場で求められるコミュニケーション能力や問題解決力も重視しています。

医療技術学部は、視能矯正学科、看護学科、診療放射線学科、臨床検査学科、スポーツ医療学科、柔道整復学科の幅広い分野を擁し、専門知識・技能に加え、倫理観や創造性、問題解決能力を備えた医療技術者の育成を目指しています。医学部附属病院に隣接する板橋キャンパスをはじめ、各キャンパスの特色を生かした臨床実習や演習を通じて実践力を磨きます。

福岡医療技術学部では、理学療法学科、作業療法学科、看護学科、診療放射線学科、医療技術学科の各分野で、地域医療・高度医療・チーム医療を支える人材を育成しています。臨床経験豊富な教員による少人数教育に加え、MRIやCTなどの最新機器や病院を再現した実習施設を活用した実践教育を展開。1年次から段階的に実習を積み重ねることで、高い専門性と現場対応力を身につけます。また、地域社会の健康を支える医療人の育成にも力を注いでいます。

科学技術の進化や社会構造の変化に伴い、医療人材に求められる役割はますます多様化・高度化しています。

帝京大学医学部・薬学部・医療技術学部・福岡医療技術学部は、それぞれ異なる専門分野を担いながらも、教育・研究のさらなる充実を図り、人々の健康と福祉の向上に貢献します。



福岡キャンパス

PICK UP 最先端のチーム医療が学べる帝京大学板橋キャンパス

(1) 自分流

生き方の哲学のこと。帝京大学では「自分のなすべきこと、興味あることを見つけだし、自分の生まれ持った個性を最大限生かすべく知識や技術を習得し、それを自分の力として行動する。そしてその結果については自分自身が責任をもつこと」と説明し、この自分流の生き方を学生に身につけてもらうために支援している。



医学部



薬学部



医療系3学部によるチーム医療



医療技術学部

(2) チーム医療

現代の医療では、医師だけでなく、看護師や薬剤師、臨床検査技師など多職種が専門性を持ち寄り、連携して患者さんを支える「チーム医療」が不可欠となっている。帝京大学では、板橋キャンパスに医学部・薬学部・医療技術学部を集約し、学生同士が学部の枠を超えて交流・協働しながら実践的にチーム医療を学ぶ環境を整備。多職種連携を担う次世代の医療人を育成している。

03 変化する医療ニーズに応える最先端の医療系3学部

帝

京大学では医学部のほか、薬学部、医療技術学部、福岡医療技術学部がそれぞれの専門性を生かしながら、知識と技術、そして人間性を兼ね備えた医療人を養成しています。

薬学部では6年制教育のもと、薬剤師として必要な高度な専門知識と臨床能力を養います。また、充実した実務実習や研究活動を通じて、病院薬剤師や保険薬局、製薬企業など幅広い